

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	図書館における障害者利用の促進			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域学習推進課		地域学習推進課長 高木 秀人
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律 障害者の雇用の促進等に関する法律			関係する 計画、通知等	新たな教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定) 第5次障害者基本計画(令和5年3月) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画 (令和2年7月)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-5 家庭・地域の教育力の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	平成30年の通常国会におけるマラケシュ条約の批准の承認や、平成31年度通常国会における「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)の可決・成立、令和2年7月の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」(読書バリアフリー基本計画)策定等を踏まえ、障害の有無にかかわらずすべての国民が読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を目指し、図書館職員等の支援人材の育成や、障害の有無にかかわらずすべての国民が等しく読書を行うことができる環境の整備を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	録音資料の貸出など一定程度の障害者サービスを行っている公立図書館は全体の17.6%に過ぎないという調査結果(国立国会図書館調べ)もあり、視覚障害者等にとって十分な読書環境が整備されているとは言い難い状況にある。このため、視覚障害者等、多様な利用者の利用を促進するため、図書館等は、自館における視覚障害者等用資料等の充実や関係機関・団体との連携によるサービスの向上に努める必要がある。 ○公共図書館における視覚障害者等用資料(大活字本、点字図書等、録音図書)の冊数 3,188,060冊 ○サビエ図書館登録館数 (※サビエとは、視覚障害者を始め、文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データなどで提供するネットワークのこと) 登録団体数: 459施設・団体(うち公立図書館 255館、盲学校 32館) ○国立国会図書館による視覚障害者等用データ送信サービス 参加館数:239館(うち公共図書館:145館、学校図書館:18館)						
事業概要 (5行程度以内)	視覚障害者等の図書館利用に係るサービスの充実を図るため、有識者、自治体、公立図書館、学校図書館、大学図書館等の関係者で構成される委員会を設置し、振興方策の検討や実態調査・事例の収集等を行う。また、司書、司書教諭・学校司書、職員、ボランティアが障害者サービスの内容を理解し、支援方法を習得するための研修や、読書支援機器(拡大読書器、DAISY再生機など)の使用方法に習熟するための研修等を行う。加えて、障害者の図書館職員(ピアサポート人材)の育成や環境の整備を行う。さらに、様々な館種の連携を図り、各館の資料の共有等を行う読書バリアフリーコンソーシアムのモデルを構築する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20230328-mxt_kouhou01-000024735_1.pdf						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	17.4	16.5	14.1	12.2	12.4
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	17.4	16.5	14.1	12.2	12.4	
	執行額(G)		13.8	12	8.9		
	執行率(%) =(G)/(F)		79%	73%	63%		
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		79%	73%	63%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	教育政策推進費			読書バリアフリーの普及啓発に要する所要経費の増額要求		
	(目)	教育政策推進事業委託費	7.9	8			
	(目)	庁費	3.4	4			
	(目)	委員等旅費	0.4	0			
	(目)	職員旅費	0.3	0			
	(目)	諸謝金	0.2	0			
		その他	▲ 0				
	計(A)		12.2	12.4			

活動内容① (アクティビティ)		読書バリアフリーに関する司書、司書教諭・学校司書等向け研修を実施する自治体等への支援								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		読書バリアフリーに関するモデル研修 の実施	委託事業を実施する自治体等 数	活動実績	自治体等	2	2	2	-	-
				当初見込み	自治体等	2	2	2	2	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	委託事業の活用により、自治体等が研修を実施するようになり、読書バリアフリーに向けた支援方法等を理解するものが増えると考え、下記の短期アウトカムを設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		読書バリアフリーに向けた支援方法等 (*)に理解が深まった研修参加者の増加	読書バリアフリーに向けた支援方法等に理解が深まった研修参加者数	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		委託事業を実施する自治体等が参加者を対象に実施するアンケート ※本調査項目は、令和5年度から統一的に実施する項目である。 * 支援方法 ・連携による多様な資料の提供(サピエ図書館への登録、国立国会図書館によるデータ提供送信承認館への登録) ・公共図書館の所蔵資料の提供(視覚障害者用資料)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	読書バリアフリーに向けた支援方法等を理解する者が増加することで、サピエ図書館の登録館数が増加すると考え、下記の長期アウトカムを設定した。 ※本事業の長期アウトカムの発現経路は、アクティビティ①～②が相互に作用して各長期アウトカムが発現するものとなっており、成果目標①-3についても短期アウトカム①～②の効果として発現するものとなっている。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		サピエ図書館の登録館数の増加	サピエ図書館の登録館数	成果実績	団体	422	435	459	-	
				目標値	団体	382	422	435	-	
				達成度	%	110.5	103.1	105.5	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		サピエ図書館調べ								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		読書バリアフリーに向けたコンソーシアムを設置する自治体等への支援								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		読書バリアフリーの周知に向けたフォーラムの開催	読書バリアフリーの周知に向けたフォーラムの開催数	活動実績	回	-	3	1	-	-
				当初見込み	回	-	3	2	2	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	委託事業の活用により、自治体等がフォーラムを実施するようになり、読書バリアフリーに向けた支援方法等を理解するものが増えると考えられるため、下記の短期アウトカムを設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		読書バリアフリーに向けた支援方法等(※)に理解が深まったフォーラム参加者の増加	読書バリアフリーに向けた支援方法等に理解が深まったフォーラム参加者数	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		委託事業を実施する自治体等が参加者を対象に実施するアンケート ※本調査項目は、R5年度から統一的に実施する項目である。 * 支援方法 ・連携による多様な資料の提供(サビエ図書館への登録、国立国会図書館によるデータ提供送信承認館への登録) ・公共図書館の所蔵資料の提供(視覚障害者用資料)								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	読書バリアフリーに向けた支援方法等を理解する者が増加することで、国立国会図書館による視覚障害者等用データサービス(※)の送信承認館数が増加すると考えられるため、下記の長期アウトカムを設定した。 (※図書館等が製作し国立国会図書館が収集した視覚障害者等用データ(DAISYデータ、点字データ等)を、視覚障害者等個人の方や他の図書館等にインターネット経由で送信するサービスのこと) ※本事業の長期アウトカムの発現経路は、アクティビティ①～②が相互に作用して各長期アウトカムが発現するものとなっており、成果目標②-3についても短期アウトカム①～②の効果として発現するものとなっている。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		国立国会図書館による視覚障害者等用データサービスの送信承認館数の増加	国立国会図書館による視覚障害者等用データサービスの送信承認館数	成果実績	団体	153	205	239	-	
				目標値	団体	133	153	205	-	
				達成度	%	115	134	116.6	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		国立国会図書館調べ								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)		読書バリアフリーに関する司書、司書教諭・学校司書等向け研修を実施する自治体等への支援【再掲】								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		読書バリアフリーに関するモデル研修 の実施【再掲】	委託事業を実施する自治体等 数【再掲】	活動実績	自治体等	2	2	2	-	-
				当初見込み	自治体等	2	2	2	2	-
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	委託事業の活用により、自治体等が研修を実施するようになり、読書バリアフリーに向けた支援方法等を理解するものが増えると考え、下記の短期アウトカムを設定した。【再掲】								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		読書バリアフリーに向けた支援方法等 (*)に理解が深まった研修参加者の増加【再掲】	読書バリアフリーに向けた支援方法等に理解が深まった研修参加者数【再掲】	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		委託事業を実施する自治体等が参加者を対象に実施するアンケート【再掲】 ※本調査項目は、令和5年度から統一的に実施する項目である。 * 支援方法 ・連携による多様な資料の提供(サビエ図書館への登録、国立国会図書館によるデータ提供送信承認館への登録) ・公共図書館の所蔵資料の提供(視覚障害者用資料)								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	読書バリアフリーに向けた支援方法等を理解する者が増加することで、全国の図書館が保有する視覚障害者用資料数が増加と考え、下記の長期アウトカムを設定した。 ※本事業の長期アウトカムの発現経路は、アクティビティ①～②が相互に作用して各長期アウトカムが発現するものとなっており、成果目標③-3についても短期アウトカム①～②の効果として発現するものとなっている。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度	
		全国の図書館が保有する視覚障害者 用資料数の増加	全国の図書館が保有する視覚 障害者用資料数	成果実績	冊	-	3,188,060	-	-	
				目標値	冊	-	-	-	3,461,588	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		社会教育調査(文部科学省) ※3年ごと調査であり、次期調査は令和6年度。 ※本調査における視覚障害者用資料とは、録音図書、点字図書等(点字図書、さわる図書など)、大活字本(大活字本、拡大図書など)の総数。 ※令和6年度(次期調査)の目標値は令和3年度の1.1倍(平成30年度から令和3年度の伸び)。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



